

2019年8月2日

## 2019年カーボンブラック需要年央見直し

カーボンブラック協会

内閣府の7月の月例経済報告によると、国内の景気は輸出を中心に弱含みであるものの、雇用情勢の改善や企業収益が底堅く推移していること等から緩やかな回復傾向にあるとしている。

先行きについても、雇用・所得環境の改善が続くなか、各種政策の効果もあり、緩やかな回復が続くものと期待されている。

ただし、通商問題の動向が世界経済に与える影響に注意するとともに、中国経済の行方、海外経済の動向と政策に関する不確実性、金融資本市場の変動の影響に留意する必要があるとしている。

こうした経済環境の中で、自動車タイヤの国内需要については(一社)日本自動車タイヤ協会が、新ゴム消費量については(一社)日本ゴム工業会が年央の見直しを発表した。

これによると、自動車生産台数は前年実績比微減、タイヤの国内需要も年初見通し比若干減少するとの見方をしている。また、新ゴム消費予想量も、前年実績比でタイヤ用が0.6%減、タイヤ以外の一般ゴム用が1.4%増で、全体で年初時の見通しとほぼ同値である。

当協会は、(一社)日本自動車タイヤ協会と(一社)日本ゴム工業会の見直しをベースとし、その他カーボンブラックの輸出入の現況も織り込み、本年のカーボンブラック需要の見直しを行った。

その結果、カーボンブラック総需要(輸出・輸入込)は、年間で前年実績比98.9%となった。

「需要見通しの指標」については、添付別紙【表1】を、「カーボンブラック需要見直し」については、【表2】を、輸入見直しについては【表3】を参照願いたい。

以上

【表1】 2019年年央見直しの指標

『年初見通し』の※前年比は前年見込み比%

	2018年実績		2019年年初見通し		2019年年央見直し	
	数量	前年比 (%)		前年比※ (%)	数量	前年実績比 (%)
自動車生産 (台)	9,730,000	100	9,689,000	100	9,662,000	99
タイヤ生産 (トン)	1,059,680	103	1,054,990	99	1,053,320	99
一般ゴム生産 (トン)	273,220	102	275,610	101	277,030	101
新ゴム消費量 計(トン)	1,332,900	103	1,330,600	100	1,330,350	100

【表2】 2019年カーボンブラック需要年央見直し

数量単位:トン、『年初見通し』の※前年比は前年見込み比%

	2018年実績		2019年年初見通し		2019年年央見直し	
	数量	前年比 (%)	数量	前年比※ (%)	数量	前年実績比 (%)
タイヤ	531,959	103.2	529,605	99.4	528,767	99.4
一般ゴム	155,735	102.3	157,098	101.4	157,907	101.4
ゴム用計	687,694	103.0	686,703	99.8	686,674	99.9
非ゴム	36,969	96.4	37,000	94.9	35,100	94.9
内需計	724,663	102.7	723,703	99.9	721,774	99.6
輸出	57,987	104.8	58,000	100.3	52,000	89.7
[内ゴム用計]	19,022	110.4	19,000	99.9	16,800	88.3
総需要	782,651	102.8	781,703	99.9	773,774	98.9
[内ゴム用計]	706,717	103.2	705,703	99.8	703,474	99.5

【表3】 2019年カーボンブラック輸入動向年央見直し

数量単位:トン、『年初見通し』の※前年比は前年見込み比%

	2018年実績		2019年年初見通し		2019年年央見直し	
	数量	前年比 (%)	数量	前年比※ (%)	数量	前年実績比 (%)
ゴム用	147,506	99.9	147,000	99.3	144,000	97.6
非ゴム用	12,800	87.7	13,000	100.8	13,000	101.6
合計	160,306	98.8	160,000	99.4	157,000	97.9